



2026 春季生活闘争スローガン

ONE TEAMで今年も賃上げ!

2026年3月9日

日本鉄道労働組合連合会

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会 2026 春季生活闘争勝利3.2総決起集会

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会は、3月2日、田町交通ビルで「国民生活と経済を支える私たちはキーワーカー!さらなる賃上げと労働条件の向上を勝ち取ろう!!」をスローガンに、「2026 春季生活闘争勝利3.2総決起集会」を開催し、産業間格差の是正に向けて最後まで全力で闘い抜く決意を固めあった。



池之谷議長

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った池之谷潤議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について触れ、「キーワーカーにふさわしい賃金水準と労働条件を勝ち取るべく、交運労協に集う60万人の力を結集し、最後まで闘い抜こう!」と述べた。

来賓として、連合から芳野友子会長が出席し、「労働組合がある企業の方が、労働組合がない企業よりも賃上げ率は約1%高い。春闘を通じて、労働組合の意義をアピールしてほしい」と訴えた。



芳野会長

続いて、交運労協の蒔田純司事務局長より、交運労協2026 春季生活闘争方針について提起があり、「①人材確保、②産業間格差の是正、③実質賃金の確保、④価格転嫁の推進、⑤産業内規模間格差の是正」の5つの視点で課題認識を共有した。



住吉労働政策局長

その後、構成組織を代表して、私鉄総連、JR連合、航空連合などの代表者より、今次闘争勝利に向けた決意表明が行われた。JR連合を代表して住吉一家労働政策局長は、「価格転嫁の一層の促進に取り組むとともに、集团的労使関係の重要性を訴える」と熱く決意を述べた。



福森事務局次長



福森敬和事務局次長（JR連合特別執行委員）によって提起された集会宣言案が承認され、最後は池之谷議長の団結ガンバローで、2026 春季生活闘争勝利に向け、交運労協に結集する仲間が一丸となり闘い抜くことを確認した。